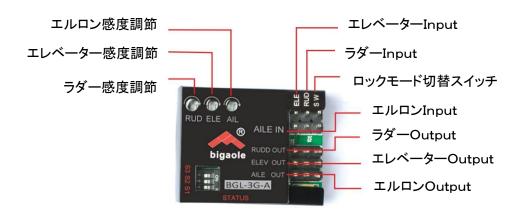
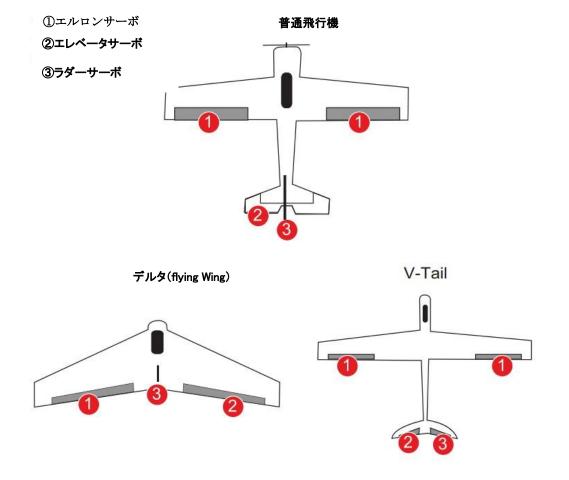
Bigaole　3G-A ジャイロ取扱説明書

1、スペック

サイズ：22mm*31mm　　重量：7.5g(ケーブル含め)　　作業電圧：DC3.5～9V
作業電流：20mA　　作業環境温度：-15℃～65℃　　最大角スピード：800 度/秒
適用サーボ：1.52ms 模擬サーボ、1.52ms デジタルサーボ　　適用送信機：PPM、PCM、2.4G

2、機能とインタフェース

モード選択　S1/S2/3S 適合モード

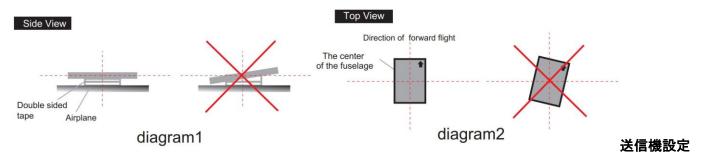
	S1	S2	S3	AIL OUT	ELEV OUT	RUDD OUT
設定モード	0	0	0	-	-	-
普通モード	1	0	0	エルロンサーボ	エレベータサーボ	ラダーサーボ
デ ル タ(Flying Wing)	0	1	0	左翼サーボ	右翼サーボ	ラダーサーボ
V-Tail	0	0	1	エルロンサーボ	左翼サーボ	右翼サーボ

3、指示ランプ

初期化	通電後、早くフラッシュ 3 秒	ジャイロの初期化が正常に進んでいる、飛行機を動かさないでください
	初期化後、青ランプフラッシュ回数	1 回フラッシュ：普通モード 2 回フラッシュ：デルタモード 3 回フラッシュ：V−Tail
	初期化後、赤ランプ早くフラッシュ	初期化失敗
作業状態	青ランプ通常点灯	普通モード
	赤ランプ通常点灯	AVCS モード
	青と赤も点滅	ジャイロモード閉まり
設定モード	設定モードに入り、赤ランプゆっくりフラッシュ	受信号の信号を受けていない

4、ジャイロ取付方法

ジャイロを柔らかい両面テープで重心に近いバランスの位置に固定します。取付方法は下記の指示図をご参照ください。

diagram1　diagram2

送信機設定

送信機を開いて、新しい模型を作ります。すべてのチャンネルの微調値(Trim)と内部メニューの微調値(Sub−trim)を 0 に設定します。すべての混合機能(mix−function)をOffにします。

5、**感度調節**

a、AIL、ELE、RUD はジャイロの感度調節　時計周りは感度増え、反時計周りは感度が下がります。

b、感度修正方向検査

・ジャイロを受信機とサーボに繋ぎます。

・S1、S2、S3 から合っている飛行機をご選択ください。

・飛行機を上下軸、横ロール軸、偏揺れ軸より別々に回転します。舵面の移動方向が正しいかご確認ください。間違ったら、設定モードにはいって、ジャイロの方向を直します。

・エルロン、エレベータ、ラダーを別々に移動し、舵面の移動方向が正しいかご確認ください。間違ったら、送信機に相応しているチャンネルのリバーシブルをご調整ください。

・AIL、ELE、RUD の感度を調整し、3方向の 3 チャンネルのジャイロの感度値を中間位置に調整します。各方向別々にテストします。舵面のフィードバックが正しいかご確認ください。

6、AVCS モード　ロックの切替

SW スイッチはロックモード ON.OFF の切替用です。

S2 を使えば、ロックとノンロックとの 2 種しかできません。

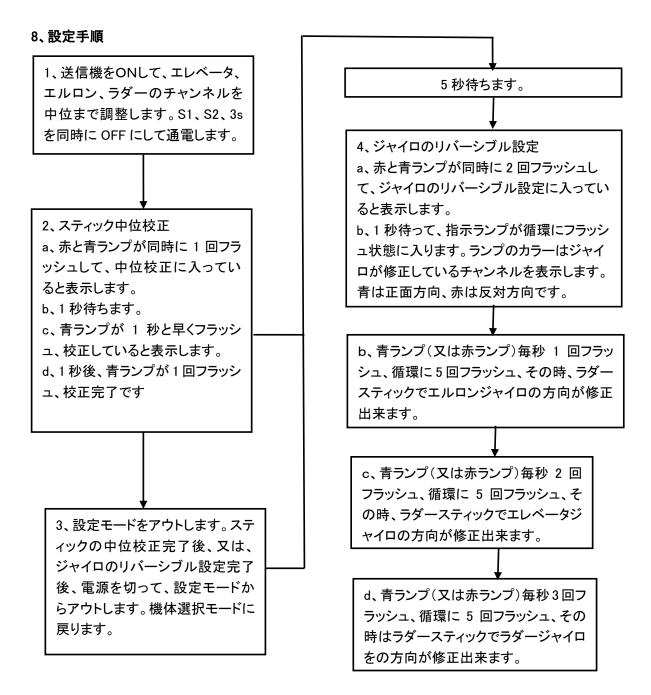
S3 はロックとノンロック 2 種のほか、ジャイロOffモードも出来ます。

詳しくは下記をご参照ください。

飛行モード	スイッチ範囲	信号パルス幅	指示ランプ
ノンロック	Less	1320US	青ランプ点灯
ジャイロOff	中間	1520+/−200US	点滅
ロック(AVCS)	More	1720	赤ランプ

7、スティック中位校正

まず、送信機のトリムを中央に戻します。設定モードに入ってから、中位校正を行います。初めて、BGL-3G-A を使う場合、又は送信機が変わった場合は中立校正が必要です。校正後、各サーボが自動に戻れます。舵面が中位になっていない場合はロードの長さを調整します。送信機のトリムは操作してはいけません。

8、設定手順

9、初回飛行

初めて、飛行の場合はジャイロの方向修正とサーボ方向が正しいかご検査ください。まず、感度が低く調整し、何度も飛行した後、うまく飛行出来るように感度値が適合な位置に調整します。

※ヘッドロックに切り替えた場合は各舵が動きますのでトリムで中立調整をしてください。

10、良くある質問

Q1 飛行機がハンチング状態で細かく振動

A）G1，G2を低く調整します。

Q2 飛行機が不規則に動きます。

A）飛行機のエンジンと機体が大きく振動しているかごチェックください。振動が下げるため、柔らかい両面テープでジャイロを取り付けます。

Q3 飛行機が全くコントロールできません。離陸すると、横へ向き、又は後ろへ向きます。

A）ジャイロの 2 軸のフィードバックの方向が正しいかどうかごチェックください。
エルロン、エレベータのスティックで作動の方向をテストします。

Q4 飛行機がゆっくり、片面の方向へ回転します。

A）舵面の取付が水平になっているか、サーボの中立点をごチェックください。
改めて、ジャイロを初期化にします。

ジャイロの初期化について

ジャイロを通電してから、数秒後、初期化を行います。初期化の時はジャイロを必ず平面に固定して、スティックも動かしません。LED がフラッシュ後青ランプが 1 秒に 1 回程度点滅すると、初期化完了です。一旦バッテリーを外して、
飛行モードを選択して ON 側に入れ、再度バッテリーを入れ、各舵の方向を確認します。
逆の場合は再度初期設定モードにはいり、初期設定後の 5 秒後にジャイロリバーシブル変更プログラムに入ります。

初期化後、赤ランプが続けてフラッシュの場合はジャイロの初期化がミスになっています。

注意

①□　3G-A は Flying　wing と V-Tail の混合機能が入っていますので、送信機でそれらの機能をOFFしてください。
②送信機のトリムボタンを調整したら、中立点は改めて設定してください。